

令和元年度 第1回能勢町子ども・子育て会議
～議事録～

日 時：令和元年7月18日(木)10:00～11:50

会 場：能勢町保健福祉センター2階 多目的室

出席者：小島会長・樺山副会長・宇佐美委員・松尾委員・植田委員・八木委員・三浦委員・高井委員・市村委員・三島委員・三好委員・齋藤委員・中谷委員

【計13名】

関係機関：大阪府子ども家庭センター 田中総括主査

傍聴者： 2名

事務局：健康福祉部 瀬川部長・藤原福祉課長・西村保育所長
倉中福祉係長・上森福祉係主事・岩崎福祉係主事
藤原社会福祉士
古嶋家庭教育支援専門員
教育委員会 寺内教育次長・古畑生涯教育課長

次 第：1. 開会

司会：藤原課長

2. 議事

議長：小島会長

- ① 能勢町子ども・子育て支援事業計画の本年度目標について
- ② 次期計画策定に向けた本年度スケジュール（案）について
- ③ 次期計画策定に向けた量の見込み（試算値）の速報について
- ④ その他

3. 閉会

司会

おはようございます。定刻となりましたので、ただいまから令和元年度第1回子ども・子育て会議を始めさせていただきますと思います。本日、足元の悪い中お集まりいただきましてまことにありがとうございます。案件に入りますまでに、初めての方もいらっしゃいますので、ご説明させていただきます。まず、本日の会議でございますが、公開により実施するということになっております。会議録も作成するということになっておりますので、よろしくお願ひします。それから、この会議の目的でございますけれども、お手元の資料2をご覧ください。設置条例のコピーでございますが、まず、子ども子育て支援法、それから、児童福祉法に基づきまして、この会議は設置されております。それから、第2条のところ所掌事項ということを書いておりますけれども、児童福祉に関する事や、本町の子ども子育て支援施策に関しましてご議論をいただくということになっております。それから、今年度ご就任いただきました委員の皆様にお一人ずつ手交しますが本意ではございますが、もうしわけございません、時間の都合上、机の上に委嘱状を置かせていただいておりますので、ご了承いただきますようお願いいたします。また、新しくご就任いただいた委員の皆様には、本日の報酬をお支払いする口座振込の用紙と、就任承諾書を机の上に置かせていただいておりますの

	<p>で、会議が終わりましたら、事務局にご提出いただきたいと思います。もし、口座情報の用紙をお持ちでない場合は、後日事務局から郵送させていただきます。よろしくお願いいたします。最後に、本日の資料を確認させていただきたいと思います。</p> <p>(資料確認)</p>
司会	<p>本日事前に豊能警察署の甲山委員につきましては、ご欠席ということでご連絡をいただいております。そうしましたら、初めての方もいらっしゃるということで、小島会長から時計回りに委員の皆様各自自己紹介をしていただいて、そのあと事務局の自己紹介ということでよろしくお願いいたします。</p>
各委員 事務局	<p>(自己紹介) (自己紹介)</p>
司会	<p>皆さまありがとうございました。なお、本日能勢高校の齋藤委員、のせ保育所保護者会の中島委員につきましてはまだお越しではないのですが、委員の過半数のご出席をいただいているということでございますので、有効成立しておりますことをご報告申し上げます。そうしましたら、少し前置きが長くなしましたが、小島会長からご挨拶いただきたいと思います。</p>
会長	<p>あらためまして皆様、おはようございます。今年は例年になく梅雨入りが遅く、未だ梅雨明け宣言がなく、うっとうしい毎日が続いております。子どもたちは、楽しいはずのプールもままならないのじゃないかと、そんな心配をしております。今日は、令和元年度第1回能勢町子ども・子育て会議本当にご多忙の中、委員の皆様ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。私はいつもこの会議に寄せていただくときに、改めて思いますのが児童憲章の全文なんですね。「児童は人として尊ばれ、社会の一員として重んぜられ、良い環境の中で育てられる。」と、そんなすばらしい文言があるわけです。でも、毎日、新聞やテレビを見ておきますと、子どもを取り巻く環境は、そういう環境ではございません。親から子育てを放棄されたり、あるいはいろんな事故にあったり、昨日の新聞では、未成年の子どもたちの自殺の原稿が出ておりました。そんな中で本当に一人一人が良い環境の中で素晴らしい成長をしなければならぬのに、なぜだろうと思うことがたくさんあります。また、一昔前、赤塚不二夫さんの天才バカボンという漫画のなかで、ある時、谷川俊太郎さんが、バカボンに宛てて詩を送られているんですね。その詩の最後に、「自分を本当に大好きで大事なんだ、でも困ったことが起きたときには、その自分を大好き、大事を忘れてしまうのではなからうか」そんな詩を思い出しまして、改めて、この会議に寄せていただく時に、本当に子ども達に幸せであって欲しい、でも私たちの小さな力では、皆</p>

	<p>の幸せというのはなかなか望めません。とういことは、自分の近所などから、その幸せを作ってやれば、大きな幸せになるのではないかなと思います。今日はですね、皆様と一緒に平成 27 年度に策定した能勢町子ども・子育て支援事業計画が 5 年間を経まして、今年が最終年度を迎えております。今日、この会議の中でいろいろ話し合いますけれども、最終年度に向けての計画が今までの 4 年間、どうだったのか、あるいは最終年度に積み残していることを、来年度にどう伝えていったらいいのか。たくさんの課題がある中で、令和 2 年度からの次期の計画に対してのお話も出てこようかと思しますので、どうぞ皆様方それぞれのご代表としまして、ご忌憚のないご意見をいただきますことをお願いをいたしまして、簡単ですが挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>ありがとうございました。そうしましたら、以降の進行につきましては、設置条例の規定に基づきまして、会長にお願いをしたいと思います。</p>
会長	<p>それでは、ただいまから会議を始めるわけでございます。案件 1 能勢町子ども・子育て支援事業計画の本年度の目標につきまして、事務局よりご説明をいただきたいと思っております。どうぞよろしくおねがいいたします。</p>
事務局（福祉）	<p>（資料に基づき説明）</p>
会長	<p>ありがとうございました。ただいま幼児期の教育・保育の実施状況と子ども・子育て支援事業の供給体制、そして令和元年度子ども・子育て支援事業計画について、事務局の方から、ご説明いただきましたが、事務局より補足説明はございませんでしょうか。</p>
事務局（福祉）	<p>1 点だけ補足説明をさせていただきたいと思っております。資料 4 のファミリーサポートセンター事業でございますけれども、資料 3 の⑥の平成 30 年度ファミリーサポートセンター事業におきましても、平成 29 年度と比較しまして、実績がやや下がっている状況ではございます。そういった中で、今週 7 月 20 日に子育て講演会が開催されます。そこに来場されました保護者の方々やお子さんに対しまして、少しでも利用促進を図るため、サポートセンターの作っておりますハンカチがあるんですけども、アンケートに答えていただくと共に、こういったハンカチを配付することによって、こういうセンターがあるという PR を図っていきたいと考えております。</p>
会長	<p>先ほどの件で、ファミリーサポートセンター事業というものを、より皆様方にご理解と、そしてご周知をいただくために、この 20 日に行います、子ども・子育て講演会の中で、アンケートを書いていたいただきました方に、かわいいハンカチをお配りいたしまして、広報活動を行うということでございます。ありがとうございました。その他、補足説明はございませんでしょうか。</p>
事務局	<p>（なし）</p>

<p>会長</p> <p>宇佐美委員</p>	<p>それでは、ございませんようですので、皆さま方、ご質問、ご意見がありましたら、只今の件につきましてよろしくお願ひいたします。</p> <p>資料3の6ページにある「子どもの未来応援センター」はまだ仮称なんですか。3年くらい経っていると思うんですけど、これは誤植でいいんですか。</p> <p>また、気になったのが、ファミリーサポートセンターに依頼者が1人ということと、この一時預かり事業というのが非常に減っているということで、その理由は認定こども園の利用者が減ったということなんですけども、今まで僕が住んできた自治体の話で申し訳ないんですけども、お母さんが、ちょっと子育ての息抜きじゃないけど、ちょっと映画見に行きたいとか、子どもを預けて美容院に行きたいとか、そういうのに使ってくださいというようにすごく推進している自治体もありまして、うちの妻とかも例えば子育て講演会にゆっくり話を聞きに行きたいんですけど、子どもが居ると行けないとなった時に、一時預かりを利用させてもらったりとか、あとちょっとうちも実は箕面市のファミサポを使わせてもらってるんですけども、そのファミサポ支援員に1人毎回来てもらってるんですけど、その人の都合がつく限り応援に来てくれて、それこそ、一時預かりには預けないんですけど、ちょっと用事を済ますために、子どもを見てもらったりとか、すごく助かっているんですね。まあもちろん費用が掛かるので、どんどん使うってわけにはいかないとは思いますが、利用してる側からするとすごく助かるんです。能勢町としては、どういう方を対象にしている制度なんですか。例えば、家庭において保育を受けることが一時的に困難って言われると、うちは困難かって言われるとそうではない、子育てをより良くするために利用させてもらってる、というイメージで考えてファミサポを使ってるんですけども、能勢町としては、ファミサポとか一時預かりっていうのは、あくまで子育てが困難、子どもの調子が悪いとか親の調子がとかいうだけでしか使って欲しくないという言い方もおかしいんですけども、そういう理由に対しての事業なのか、それとも子育てを応援したいから、どんどん利用してもらって、ファミサポで働く人たちのモチベーションにも繋がるわけですし、親御さんがやりたいことを我慢して子育てをしてくれているという子どもを見ることで、働く方のモチベーションにも繋がりますし、保育所とか認定こども園の方で子どもを一時預かりっていう制度を作って、利用してもらった方が、いいのかなと、あんまり利用してもらおうとちょっと事業的に厳しいのか、その辺の見解とか、あとはできればアンケートをすとかということ、どんどん推進していくと、もっと子育てがしやすくて、能勢町って買い物するにも結構距離もあるし、子育てをちょっとしにくいけど、そういうのがすごく充実してるから能勢町で子育て続けたいとか、能勢町ではそんなこともサポート受けれるとか、はっきりと他の子育てに力を入れている自治体は全部やってることなんで、やらないと正直能勢町としても子育て支援できてないということになってしまうんじゃないかなと。個人の感想と、能勢町のスタンスをお聞きしたいなと思います。</p>
------------------------	--

<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。今、宇佐美委員の方からファミリーサポートセンターが如何にあるべきかという事でございますが、先ほどは皆さんに周知徹底をするために、ハンカチを配るという事でございましたが、能勢町としてどういう形でこのサポーターを募り、そしてサポートをしていただく方、どんな風に受けてくださるんだろうかということですね。現状がわかっているならばお話しをいただきたいということだったと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局（福祉）</p>	<p>では、お答えをいたします。まず6ページのところで「子どもの未来応援センター」につきましては仮称ではございません。申し訳ございません。修正をよろしくお願いいたします。仮称の方を消していただければと思います。</p> <p>それからですね、ファミリーサポートセンター、まずどのような考えで設置しておるかというところでございますけれども、宇佐美委員もおっしゃったとおり、何よりも子育てを応援したいという思いで開設したものでございます。けれども実際利用が少ないというところについて、アンケートについても実施したことがないという事でございますので、それについては利用が少ないというところから何か原因があると考えられますので、アンケートについては一度、検討させていただきたいと思っております。それから、少し蛇足にはなりますけど、能勢町では小さなお子様を持つ保護者を対象としたイベントであるとか講習会という時には、一時預かり保育といった親子が同時に来ていただける環境を作っているのですけども、そういったところに関しましてもご存じない方もいらっしゃると思いますので、積極的に周知していきたいと思っております。また、そういった時に、併せてファミサポについてアンケートをとるということを検討させていただきたいと思っております。</p>
<p>副会長</p>	<p>PRの方法なんですけど、今回、アンケートをとってということだったんですけど、私が経験した中で、私が住んでいた自治体は依頼者の方が提供者より多くて、結局使えていなかったんですね。なぜ使おうかと思ったかという、他のお母さんが使っているのを見て、本当にありがたい制度だということを知っていたので、それで使いたいと思ったので、能勢町では使っている人が少ないので口コミも広がりにくいんだと思うんですけど、お母さん達にこんな風に使えるんだよというイメージがつけば良いんじゃないかなと思うんですけど、私の研究室の秘書さんも、幼稚園が休みなんで、今日はファミサポさんに預けてきたとかおっしゃっていたので、柔軟な使い方ができるといいなと思いました。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。一つは広報活動をしていくということが一つと、もう一つは、お二人の先生から伺いますと、やはり口コミがとても多い、その中でうちも助けてもらおうという思いが出てくるんですけど、能勢町の場合は他の救われ方があるんですね。近所あるいは本当に近いところに親が住んでいる、親の助けが一番先にくるわけですね。それならサポートをお願いしなくてもという、環境事情が異なるかもわかりませんが、やっぱりこれからは若い世代の方が増えてきますし、それから親に頼るよりはこういった公的な支援センターに助けてもらう方が、楽じゃ</p>

	<p>ないかと、これも口コミで増えてくるんじゃないかと思しますので、アンケート等を実施していただいたり、機会がある度にこういう支援もやっているんですよということを伝えていくことも大事ですし、先ほどもお二人の先生がおっしゃいましたように、サポートが使われた方はこんな感想をお持ちでしたよ、ということも何かで触れていくと、サポートの活用率が高くなるんじゃないかなと思いますね。その他ございませんか。</p>
<p>宇佐美委員</p>	<p>近くに親御さんがいてということも、都市部と比べて良いところがあると思いますが、実際僕が周囲で見ている外から来られた若い世代、例えば農業しに来てくれている世代とか、いろんな理由で来られていると思うんですけど、やっぱり近くに親御さん、親戚のいない方っていうのが、近所の人をお願いできるかということかなり難しいことがあるかと思うので、先祖代々であったりとか、親御さんとこちらで住んでいるご家庭に関しては、確かにそういうサービスは要らないんですけど、孤立化を防ぐとか書いてある中で、自分も親が遠くに住んでいるので、やっぱり親にばっとお願ひ出来たらいいのになと思うことがいっぱいある中、近くにいる親代わりみたいないつも慣れたファミサポの会員さんがいてくれることがすごく安心感があって、いざとなったらお願ひしてみようかなと、本人さんに連絡をしたらいいですよと、そういう風にお願ひできることがすごい助かったということが何回もあるし、他のフォーマルなサービスでは提供しきれない部分も、ファミサポにはいろんな利用の仕方があるって、もちろんそれは一対一になると思うんですけど、まずは依頼者さんと提供者さんをつなげてあげて、それを利用することで子育てをする親御さんが我慢しないで生活していけるということが、能勢町に来たけど、やっぱり子育てが大変だから出ていこうかなと言われると、すごい寂しいし、人口も1万人を切って、新しく生まれる子供たちが1年間に30人を切っているというかなり厳しい状況で、能勢町がサポートして、外の人たちにも子育てをアピールできるような町にしていけないと、能勢町は本当にこのまま人口が少なくなっていくって、とても子育てなんてできる状況じゃなくなる、小学校が1学年1クラスになってしまうという危機的な状況が目に見えているので、そこは危機感を持って、でもあまり暗い感じにせずに行きたら、お母さんたちが楽しく、息抜きしながら子育てができるというアピールにもって行って欲しいというのが個人的な意見です。あと、親御さんにお願ひするというのも、親御さん世代が孫の世話が大変だと、結構しんどそうになって受診されている方もいる側面もあって、孫を見る親御さんの息抜きにもファミサポがあれば、そうは言ってもそんなことするわけにいかないとおっしゃる親御さんも多いと思うんですけど、変な話、お金を払わないといけませんが、お金を払えばお願ひできる関係というのは、非常に広い世代に広がる話なので、ぜひとも広報して欲しい。</p>
<p>会長</p>	<p>先ほど申し上げましたけども、能勢町の地域的な事情もありますけども、やっぱり若い世代の方、子育て中の方を考えた時に、助けてくれる方があるというのは心が安らぐから、子どもに対する優しさも出てくるんじ</p>

<p>植田委員</p>	<p>やないかなと思います。 先ほどのファミサポですとか一時預かりの話ですと、お義母さんと同居している嫁としての意見なんですけど、実際、頼んだらお義母さんはやってくれるわけなんですね。でも、お義母さんに見てもらうより、こっちとしてはお金を払って見てもらった方が気持ちが楽な時もあるけど、それでも、やっぱりお義母さんからするとお金を払ってまで預けるの？という考えがあるんだろうなと、そういう上の世代の方々はお金払うより私が見るといふことがあると思うので、若い世代に対するアピールももちろんなんですけど、もっと上の世代の方々にお金を払って預けるのは、おかしいことでも恥ずかしいことでもないんだということも同時にアピールしてもらった方が助かるかなって思います。</p>
<p>会長 事務局（福祉）</p>	<p>ということでございます。 先ほど提供会員と依頼会員の数に触れておられたので、ご報告いたしますと、30年度末でファミサポを利用したいという利用会員は22名いらっしゃいます。前年度が18名ですから、4名増えております。それから、提供会員ということで、お預かりしていいですよという方が、27名、前年度が22名でしたので、少しずつ増えているというところですけども、実際に活用された方は依頼会員22名のうちの1名が12回活用されただけということですので、このあたりも今委員がおっしゃっような原因もあるかもしれませんから、まず22名の方になぜ利用されないのかということを確認したいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。今貴重なご意見の中で、自分たちは預けたいなと思っていても、やっぱり今の能勢町の体質と言えはそうかもしれませんが、親がいるなら親が見るんだからと、なぜ、預けないといけないのかと、世間体もあるということかもしれませんが、こういうことは世の常だということになってしまえば、こんなに27名の方が提供して下さるんですから、希望すれば全員使えるわけですから、こういうことがあるんですよと、もし使ったら親御さんも楽になるかもしれませんし、おばあちゃんおじいちゃんも怪我させたら困るなと思いつつ預かるよりは、預けてしまえば私たちも楽かもしれないなと、そういう気持ちを起こさせるようなアピールをみんなで考えていけたらいいなと、今の意見を聞いて思いました。</p>
<p>松尾委員</p>	<p>資料4に学びの丘の一般開放と書いているんですけど、こちらの方はずっとされているのかということと、能勢町には公園が少ないと聞くんですよ、学びの丘が常時開放されていないのであれば、公園として開放したら、小学校、中学校の敷地にあるわけですので、行ってみたいという子どもさんもいるかもしれない。あと、東地区にも今利用されていない学校がありますので、公園として利用できないかなという意見を聞いていますので、回答をいただきたいと思います。</p>
<p>会長 事務局（教委）</p>	<p>ありがとうございました。学びの丘ですね、これの開放がいつなのかという質問ですね。 それでは学びの丘の開放について、回答させていただきたいと思います。本年度で能勢ささゆり学園が開校4年目を迎えました。これまで一般開</p>

	<p>放というような取り組みはしていなかったんですけども、今年度初めて学校運営協議会という昨年度立ち上がった組織を中心としまして、学びの丘の開放を行いました。4月14日の1日開放させていただきました。約80の方が来られました。その日はあいにくの雨でしたが、今年は桜がまだ残っていて、ささゆり学園の桜を観るために来て下さった方もいらっしゃいました。今回は学校運営協議会が主催でということで取り組んでいたんですけども、あくまでも基本は学校施設の一部ということですので、クリアしないといけない課題がたくさんあるんですけど、貴重な資源ですので、今後、年に1回だけじゃなく、もう少し開放して町内、町外の方が来て下さるような機会を持ちたいと考えています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。学校運営協議会が主催をされて、4月14日、今回は年1回開放されたということで、今後、町の財産として開放できる機会があれば、いろんな条件がクリアできたら、また1日でも多く開放したいということですね。これがまず1点、続いて公園についてですね。</p>
事務局（福祉）	<p>公園の整備についてですが、今おっしゃったように、東地区にはございませんけれども、公園と言いますか、能勢町では公共施設再編計画としまして、旧歌垣小学校に公共的な施設を集めるということで検討しております。その中で、地元の方が集まっていたかやすいような部屋になりますけど、そういう施設を整備しようかという話がございます。それと、本庁舎を整備しましたら、今本庁舎が建っている場所に、お子様連れでお越しになりやすい芝生広場のようなものを整備するというところで今動いておりますので、なかなか東地区に手が及んでいませんが、順次整備しているところでございます。</p>
会長	<p>そういうことで、今いろいろな整備計画の中で、新しく整備される部分に、公園とまではいかないまでも、住民のためのオープンスペースを作っていくと計画されているようでございますので、委員の皆様にはご期待いただきたいと思います。</p>
市村委員	<p>その他ご意見はございませんでしょうか。</p>
事務局（福祉）	<p>資料4の1ページ目の子育て応援事業の中の子育て講演会が日曜日になっているんですけど、土曜日ではないですか。</p>
市村委員	<p>申し訳ございません。</p>
会長	<p>一つ質問なんですけど2ページ目の児童館活動なんですけど、どうしても昔から登録人数が少なくて、中学生が3人というのがさみしいと思いましたが。小学生から中学生になるときに凄く減ってしまうと思うんですけど、もっと周知してほしいと思いますし、児童館自体がどこの建物も老朽化しているの、それについてはどのように考えておられますか。</p>
事務局（教委）	<p>1点は訂正、土曜日でございます。それから、児童館活動でございますけど、中学生になると凄く減っているということと、どこの児童館も老朽化していますので、どのように児童館活動をしているのかということですね。</p>
	<p>児童館活動について、説明させていただきます。中学生の登録生徒数が少ないというのが、学校を再編されてからの課題なんですけども、適宜、追加の登録も受け付けておりますので、引き続き周知を続けさせていた</p>

	<p>だいているところでございます。あと、昔からある 4 つの児童館でございます。いずれも昭和 40 年代に建てられたものでございますので、どうしても老朽化が著しいものでございます。学校再編されてから、児童館活動は基本ささゆり学園でしておりますので、地域の児童館については、夏休みに何度か開放しているくらいです。あとは 12 月に児童館祭で使用しているところでございます。ですので、この施設のありかたにつきましては、残していくのかということも含めまして、各地域の関係者の方々のご意見を聞きながら、できるだけ早い時期に方向性を決めていきたいと考えております。</p>
会長	<p>児童館が老朽化しているので、心配されていたのですが、学校でされているということですので、この件については大丈夫かなと思います。その他ございませんでしょうか。ございませんか。それでは貴重なご意見ありがとうございました。</p> <p>それでは案件 2 次期計画策定に向けた本年度スケジュール（案）について、説明をよろしく申し上げます。</p>
事務局（福祉）	（資料に基づき説明）
会長	<p>それでは計画策定に向けたスケジュール（案）ということで、説明していただきました。説明に対してご意見はございませんか。</p> <p>それではこの件につきまして、9 月以降の日程は未定ですが、早めにご連絡しようと思っておりますので、ご参加いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは案件 3 次期計画策定に向けた量の見込み（試算値）の速報について、説明をよろしく申し上げます。</p>
事務局（福祉）	（資料に基づき説明）
会長	<p>ただいま、案件 3 についてお話をいただきました。これは昨年度にニーズ調査をしてくださったところから、読み取っていただいたものですね。</p>
事務局（福祉）	はい。
会長	<p>ということで、次期計画策定に向けて、見比べていただくいろいろな状況も変わっているところがございます。そのあたりにつきましては、これからの仕事になろうかと思っておりますので、今回は次期計画に向けたニーズの試算値ということで報告していただきました。また、事務局の方で、ニーズ調査をしていただいた結果、こんな大きな違いが出てきているということがあれば、また報告していただきたいと思っております。</p> <p>皆様方、ご意見はございませんか。</p> <p>それではご意見が無いようですので、案件 4 その他について、皆さまから今日の会議について、言い忘れなどございましたら、ご意見をいただきたいと思っております。</p>
事務局（福祉）	<p>それでは事務局からでございますけれども、資料 5 でも説明させていただきましたけれども、次回とその次の会議を 9 月と 10 月の予定にしていますけど、この 2 回が近接しておりますので、議会等の状況を踏まえて、</p>

	皆様と日程を調整させていただきたいので、その際にご協力おねがいします。あと、その他資料としまして、参考資料を配付させていただいているところがございますが、担当の方から説明させていただきます。
事務局（福祉）	（無償化について説明）
会長	幼稚園・保育所・認定こども園の無償化が 10 月からということで、またこれも皆様に周知徹底をされるものと思います。 その他ございませんでしょうか。
宇佐美委員	最初の方で言い忘れていたんですけど、資料 3 の病後児保育事業に関してなんですけど、僕の認識では、保育所の中で保育中の子どもが体調が悪くなった時に、その場所に看護師がいてくれるという事業の実績を示しているという認識で良いかと思うんですけど、というのも、今は能勢町内には病後児保育制度がなくて、庁舎再編に併せて検討中なので、あまり詳しいことはまだ決まっていないのだと思うんですけど、この資料を見て気になったのが、病後児保育の中にこの数字が書いてあるんですけど、体調不良対応型と病後児保育は違うものなんじゃないかなと思ってたんですけど、事業の説明があまり書かれていなくて、他の大きな市などではすでに行われていて、大体は委託だと思うんですけど、能勢町でもそういった事業をやらないといけないということで計画を立てていて、庁舎再編に併せて作ろうという案が出ていて、まだ検討中だと思うんですけど、体調不良型をやっているというのは素晴らしいことで、急に熱が出たから急に迎えに行くのではなく、夕方に迎えに行けばいいというのはすごいありがたい話で、これだけ実績があるのは続けていただきたいんですけど、病後児保育に含めて良いのかというのが疑問なのと、今後の見通しが今の時点で分かっている部分で公にできるものがあれば教えていただきたいです。
会長	ただいまの質問は、主に病後児保育事業について、もう少し具体的に教えていただきたいということと、新しい取組としてされるのであれば、大まかにこのあたりまでやっているということがあると思いますので、事務局から説明をお願いします。
事務局（福祉）	病後児保育事業についてですが、資料の事業内容の部分を見ますと、病院という文言がついていますので少しわかりにくいのですが、その部分につきましては少し修正させていただきたいと思います。それと、先ほど申し上げました公共施設の再編に併せまして、東側地域の旧歌垣小学校に今ある診療所を移す予定にしております。その中で、新たに診療所に併設するという形でできないかと担当部局で考えておまして、今後令和 2 年度中に移転をすると、建物自体は改修になりますので、そこに住民サービスセンターであるとか、診療所機能を持っていくということになります。その中に、持っていけるのかということも含めて、実施設計を今後していく予定になっておりますので、方向性としては病後児保育の機能を持っていきたいという方向で動いておるということでご理解をいただきたいと思います。なお、これは町としての思いでございます

<p>宇佐美委員</p>	<p>ので、それに関係する看護師であるとか医師と調整しているものではないです。</p> <p>僕自身も全然イメージがつかないので、いろいろ調べさせていただいたんですけど、他の自治体では保育所に併設していることが多いということ、場合によっては、指定管理で単独の建物でやってらっしゃるようなところと、自分自身は利用したことはないんですけど、周りから聞いた利用した時の話によると、病児保育はどうしても小児科を受診してから預けると、そういった受診というのは僕が小児科も診せてもらってる範囲で診察して、預けるというイメージはわかりやすいですけど、普段病児・病後児がない場所に保育士なり看護師なりが来て保育をする。ただ保育をするには、食事、あるいは排泄等の設備とか、スペースはあればいいと思うんですけど、お1人でどうするのかとか、体調の悪い子にどういった物を食べさせるのかといった時に、単独の施設で、併設とおっしゃっているのは診療所内では無くて診療所の横の部屋という認識でないと、同じ施設内の認識だと理論上できないんですけど、ある一つの部屋で食事を作るといったことはまた問題があって、それなら、逆に保育所で給食を作っているんですから、そこで調理をするとか、いろいろそういうことを具体的に考えないと、本当に診療所の横に作る方がいいんだろうかというのは、僕自身の個人的な意見だとか、診療所のスタッフとそういう議論をしている中で、本当にできるのかなというのが正直な思いなんです。本来は職員の中で伝えるべきだったのかも知れないんですけど、考えるのであれば本気で具体的なところを考えていかないといけないし、職員も本当に来てくれるのかという問題もあるし、非常に大きな赤字が確実に出ると思うんですよ。それでも子育て支援を強く謳う能勢町として、赤字を覚悟でするのか、もっと明確に議論をして具体的な施設の作り方を設計しないと間に合わないと思いますので、あえてこの場で意見として言わせてもらいました。まず、周辺の市町村が実際どのように運営しているのかも調べていただいた方がよいと思いますし、僕自身も全然わかっていない部分があって、わかっていない部分に関して正しくやっていくのはすごく難しいと思うんですけど、造ったらできるぐらいに思われると、造ったものの実質性がなくて、人がいてないのでできませんとか、給食を確保できないのでできませんとなると、結局お金が無駄になるので、本当に歌垣小学校跡にそのスペースを造る必要があるのかということから考えないと、僕は問題があるのじゃないかというのが意見です。この場で話す必要があるのかわかりませんが、資料に病後児保育事業と書いてある以上、大きな議題だと思うので、公式の場でも出させていただいて、検討の対象にしていただきたいと思います。</p>
<p>会長 三浦委員</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>私の幼稚園の中で行っている病児保育、病後児保育につきましては、やはり責任もありますし、看護師さん3名いるわけなんですけど、そこに命に係わるサポートをする人1名の4名の体制で扱っている問題で、救急体制のマニュアルもできあがっているわけなんですけども、そこで先</p>

	<p>生が大変心配されていますけれど、病気と保育という併設部分、いずれも子供には保育が必要ですし、現状ですとぜんそくとかいろんな状況を踏まえたところで診療をしないといけない。園で対応できる状況であれば私たちも引き受けますが、それ以上に大きな病気につきましては、致し方なく専門のところへ掛かっていただくという2つの考え方があります。そういう中で子ども幸せ、本当の幸福ってなんだろうと思うと、やはり安全対策、病気の子どもに対しての保障ですよね。そういうところを私たちがどう受け止めていくかということになりますので、いずれにしても安全対策としては十分備えています。そして病後児保育も多少は受けていますけども、この施設整備においては、病後児保育事業と病児保育事業と内容が違ふんですよね。それを精査していかないと私やっている方でも分かりにくいんですよ。</p>
会長	<p>ということで、病児と病後児というのが一緒になってはいけないというのがまず一つですね。もう一つは先ほど先生がおっしゃいましたように、たくさんのお金をかけて開設しても、そこにはなかなか人が来ないということは、今のファミリーサポートセンターに通じる部分もありますよね。</p>
植田委員	<p>その他ございませんでしょうか</p> <p>この場で聞いていいものなのかわからないですが、産後療養はまた別の部署が担当しているのでしょうか。産後療養は確か国からやるようにということで降りてきていると思うのですが。資料には書いていなかったもので、他の部署になるのか、それとも能勢町にはやるだけの財力がないのかが気になりまして、というのは、私は助産院で出産してまして、助産院の方は能勢町を受け入れる体制はあると言ってくれているんですね、ただ、能勢町からは連絡がないと、今年度に関しては妊婦さんのヨガを頼んでくれているようですが、周りの市町村を見ても、産後療養を始めているところが凄く多くて、能勢町はヨガだけしかできないと保健師さんに言われたんですけど、今後能勢町としてはどのように考えているのか聞いてみたいと思っていたので、この場を借りて聞かせていただきました。</p>
事務局（福祉）	<p>只今ご質問いただきました産後療養につきましては、健康増進課の保健師が担当することになると思います。ですので、本日は会議に参加しておりません。今、いただいたご意見につきましては担当部署に伝えさせていただきます。そちらで検討できる部分は検討していきたいと思えます。</p>
会長	<p>ということでございますので、今後検討していただけると思えます。</p>
事務局（教委）	<p>（元気ひろば説明）</p>
会長	<p>ありがとうございます。夏休みのイベントのお誘いと共に、ボランティアも募集しておられるようですので、一度行ってみようという方がありましたら、皆さんお声かけをお願いしたいと思います。</p> <p>他はございませんでしょうか。</p>

<p>副会長</p>	<p>そしたら今日皆様から貴重な意見を頂戴しましたところで、今日の会議を終了したいと思いますが、閉会のあいさつを兼ねまして、榊山先生にまとめをお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>皆さんお疲れ様でございました。今日会議に参加させていただきまして、主に事業の計画などを聞かせていただく中で、非常にたくさんの事業に町の方はじめ、各所で尽力されているんだということがよくわかり、頭の下がる思いでした。今日の議論の中でもあったんですけども、限られた中でどうやって進んでいくのかということが大事なのかなというように感じました。医療の世界でも財源の事で逼迫してまして、いろんな施策って地域の特性に合わせて進めるようにということで、同じ事業でも進め方は本当に自治体に任されていて、その工夫の仕方次第だなということをととても感じております。今日議論の中にボランティアの側からの声があって改めてはっとしたんですけども、本当に対象のお母さんだとか、保護者だとかお子さんだけにアプローチするという視点ではなくて、やっぱり周りには家族があって、地域があって、その中で育てられているんだなということを改めて、事業を利用するときにそういうことも影響しているんだなということも感じまして、地域で育てている、全員で育てているという視点を持つということがとても大事ななと思いました。それも初めに会長から言葉があったとおりでなという風に思っています、1人では微力ですけども近所の皆から幸せを作れば大きな幸せになるということをおっしゃられていたんですけども、それぞれの場所でそれぞれの違う対象にアプローチができると思うので、そういった中でこういった事業はとても有効になりますし、あと、併せてファミサポの提供者が希望しているより多いというすごい羨ましい状況だったんですけど、おそらく能勢の中には助けたいと思っている方がすごく多くてですね、そういった方々に活躍してもらう場を作ること自体が、助けられる方もありがたいんですけども、実はそれに役割を持つことの喜びにもつながって、地域で暮らす喜びを皆で感じられるような地域になるんじゃないかなという風に思いながら、全体の会議を聞かせていただきました。また、次、計画を立てていくということでたくさんの会議がありますけども、皆さんと意見交わしながら良い町づくりをしていければなと思いました。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは長時間にわたりまして、いろいろと協議いただきましてありがとうございました。次回、皆様とお目にかかりますのは9月でございます。ぜひとも、いろいろなお忙しい中でしょうけども、お時間を上手く作っていただきまして、ご参加をいただき、次はこんな意見をということで、ご意見をそれぞれ地域の方からもいただきながら来ていただけたら大変うれしく思います。本日は本当に長時間にわたりましてご協議ありがとうございました。</p>